



学力特集号
令和元年11月27日
枝光小学校
校長 谷口 幹夫

枝光小学校の学校教育目標

「自ら学び 豊かな心をもって
たくましく生きる子どもの育成」
笑顔が輝き、思いやりのある子どもたちに

令和元年度 全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成31年4月18日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語，算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思います。なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 教科に関する調査結果の概要

カテゴリー	学力調査の分析（傾向や特徴）
国語	全国平均正答率を下回っていました。特に「読むこと」の領域について課題があります。一方、話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめて書く事項については基礎ができてきました。
算数	全国平均正答率を下回っていました。特に「量と測定」「数量関係」領域について課題があります。一方、長方形を直線で切ってできた図形の中から台形を選ぶ問題では、正答率が高かったです。

2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する調査結果の概要

質問紙調査の結果分析
「今住んでいる地域の行事に参加している。」と回答した児童は、全国平均より多いです。今後も、地域やPTAの方々と協力して祭りや行事に取り組み、児童が地域の行事に進んで参加し、地域に愛着をもって生活できるようにしていきたいと考えます。 「人が困っているときは、進んで助けている。」と回答した児童も、全国平均より多いです。今後も、道徳科の主題研究を中心とした心の教育に取り組み、道徳性や道徳的实践意欲を高めていきたいと考えます。 「将来の夢や目標をもっている。」と回答した児童も、全国平均より多いです。校区の商業施設や公共施設訪問、保育士体験等、今後もキャリア教育に係わる活動を計画的に進めていきたいと考えます。 「家で自分で計画を立てて勉強している。」と回答した児童は、全国平均より少ないです。「自主学習ノート紹介コーナー」の掲示や「枝光小 自主学習ヒントメニュー」の作成・配付を行っていますが、一部の児童にしか浸透していないことが課題であると考えます。

3. 調査結果から明らかになった課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組（全校で・学年で・学級で）

- 朝学習の時間に算数の練習問題に取り組み、計算技能の習熟を図る「チャレンジタイム」を設定しています。各学年週に1回、給食準備時間中に補充学習を行い、学力の定着を図っていきます。
- 主題研究の取組を軸に、授業の中に学び合いを位置付けることを徹底しています。互いに考えを表現し合い、自らの考えを広げたり深めたりしながら学習内容を理解できるようにしていきます。

② 家庭生活習慣等に関する取組

- 「自主学習ノート紹介コーナー」の取組を継続していくことや「自主学習コンテスト」により、自主学習ノートを互いに見合ってよさを見付け、自主学習の質を高めたり、自主学習に対する意欲を高めたりすることができるようにしていきます。